



から



へ

特定非営利活動法人から一般社団法人あぶくまエヌエスネットへバトンタッチ

進士 徹

ホームページお知らせコーナーで解散について公告義務があるために少々儀礼的になってしまいました。あぶくまエヌエスネットは、平成15年に設立したくさんの皆様に多大なご支援とご指導ご鞭撻を頂き活動を継続することが出来ました。感謝しております。誠にありがとうございました。

ここに15年間の活動に幕を閉じる決断を致しました。解散については複数の理由がございます。

- 1、 私個人の体調（心臓）あまり無理しないように…
- 2、 家内の両親が高齢（93歳、89歳）、東京都八王子市に住んでいますが、月に1度は家内が帰省して家事諸々の時間を今後は確保したいこと。
- 3、 NPO法人としてやるべき事は、全力でやり尽くした思いです。子ども達の体験交流事業・都市との交流事業。
- 4、 2011年3月12日に福島原発爆発事故後、見えない放射線への不安と恐怖に一瞬にして普通生活を奪われた中で、子どもの笑顔と元気はどんなことがあっても奪うことは駄目！！そう思った私は今までの自然体験の繋がりを駆使して「ふくしまキッズ」の活動を2016年の5年間持っている力以上のパワーを注いだという感覚です。

誰から頼まれて起こしたわけでもなく、苦しんでいる子ども達の現状を無視して生きる事が出来なかった私でした。心臓の手術後1年目だったために体力は回復途中でした。でもそんな事言てられない状況で、覚悟を決めて命をかけて動いた期間でもありました。

今はだいが県内の暮らしも普通に戻って来ました。全国で協力してくれた自然学校も1箇所、1箇所ふくしまキッズの努めを終えています。ようやくふくしまキッズの任務に一区切りする時期に来たのか…そんな思いです。

- 5、 昨年北海道胆振東部地震が起きてしまい、ふくしまキッズの活動を支えてくれたエリアが被災してしまいました。参加した子ども、保護者のかたはただ事ではありませんでした。何か役に立つことがあれば～という思いと、いぶり自然学校の上田さんが活動の土俵を作ってくれました。それがキッズプレーパークのプレーリーダーとしての関わりでした。福島から北海道胆振へ…昨年11月から先日まで週末に活動を支えるボランティアとして、関わった子ども達の活躍はめざましく素晴らしいものでした。御世話になった恩返しが出来ると！！その思いが形になったのです。
それだけ成長した子ども達です。もう今後私が表に出て…という時期はもう終わりました。

このほかにもたくさんの事を積み上げてきました。時に辛い事も…でも振り返ってみると

「日々是好日」すべてがプラスに変化していることです。全てに感謝しています。

ありがとうございました。

今後について

2019年4月1日から「一般社団法人あぶくまエヌエスネット」として新スタートします。

法人名が変わるだけで、今まで積み上げてきた事業そのものはそのまま移行して行きます。

というよりもさらにこの地域が元気発信し続けることや、将来を担う子ども達のたくましい成長の応援団として関わって行く所存です。さらに、ワクワクするぼんた山元気楽校に磨きをかけて行きたいと思っています。どうぞよろしくお祈りします。